

人を診る力。



Hey Dr.!! 研修は富山県!

**vol.12**

平成26年3月発行



## 目次

1. 富山県内の臨床研修病院一覧 …P1
2. 県内臨床研修病院からのメッセージ(県西部) …P2~P8
  - <特集> 大学時代、「コレ」だけはやっとかれ！
    - ★研修医・若手医師からのメッセージ
    - ★先輩医師からのメッセージ
      - 高岡市民病院
      - 富山県済生会高岡病院
      - 厚生連高岡病院
      - 金沢医科大学氷見市民病院
      - 市立砺波総合病院
      - 南砺市民病院
3. 春休みは富山の病院へ！見学費用助成のお知らせ …P9
4. 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会のお知らせ …P10
5. 平成26年度行事予定 …P10

# 富山県内の臨床研修病院



病院名	所在地	病床数	後期研修	電話番号
黒部市民病院	黒部市三日市 1108-1	<414床>	○	0765-54-2211
富山県立中央病院	富山市西長江 2-2-78	<735床>	○	076-424-1531
富山市立富山市民病院	富山市今泉北部町 2-1	<595床>	○	076-422-1112
富山大学附属病院	富山市杉谷 2630	<612床>	○	076-434-2281
富山赤十字病院	富山市牛島本町 2-1-58	<435床>	—	076-433-2222
富山県済生会富山病院	富山市楠木 33-1	<250床>	○	076-437-1111
高岡市民病院	高岡市宝町 4-1	<476床>	○	0766-23-0204
富山県済生会高岡病院	高岡市二塚 387-1	<270床>	○	0766-21-0570
厚生連高岡病院	高岡市永楽町 5-10	<681床>	○	0766-21-3930
金沢医科大学氷見市民病院	氷見市鞍川 1130	<250床>	○	0766-74-1900
市立砺波総合病院	砺波市新富町 1-61	<514床>	○	0763-32-3320
南砺市民病院	南砺市井波 938	<175床>	○	0763-82-1475

# 《特集》



# 大学時代、

# やっとかれ！

# だけは



# 《県西部編》

もうすぐ新年度、またひとつ学年が上がりますね。  
 入学時にめざした「理想の医師像」に近づけていますか？  
 また、この春の新入生の皆さんは、どんな医師になりたいですか？  
 新学年を前に、ちょっと立ち止まって考えてみましょう。  
 先輩方もきっとみんな同じ苦勞をしてきたはず。  
 その体験談とアドバイスから、「なりたい自分」になるための  
 ヒントを見つけ出してください！



高岡市民病院	..... P 3
富山県済生会高岡病院	..... P 4
厚生連高岡病院	..... P 5
金沢医科大学氷見市民病院	..... P 6
市立砺波総合病院	..... P 7
南砺市民病院	..... P 8

◇「県東部編」は、前号第11号（25年12月発行）に掲載されています。

# 1

## 高岡市民病院

### ◆ 研修医からのメッセージ

当院で初期研修を行い2年目になりますが、毎日が充実していて、とても満足しています。当院では研修医ひとりあたり月4回程度、2次救急日の内科系または外科系当直を指導医とペアで行います。救急車搬送からウォークインまですべての初期対応は研修医が行うので大変勉強になります。心配性な私は、対応したほぼ全例を指導医に報告し、診療が適切であるか、より望ましい方法があるか意見を求めます。そうすることで患者に不利益を与えることなく、しかも自らの診療能力向上に必ず役立ちます。やる気をもって取り組めばどの病院でも有意義な研修になると思いますが、当院にも心強いバックアップをしてくださる熱心な指導医・スタッフが数多く揃っています。じゅうぶんなサポートに見守られ、適度な緊張感を保ちながら救急対応を多く経験出来ることが当院の利点です。知識や経験が豊富なだけでなく、患者に接する心構えなどについても目標にできる先生方が多いと感じます。充実した研修が行える当院で早く成長し、富山県の医療に貢献したいと思っています。



氏名 高桑 功一朗  
診療科 臨床研修医  
出身大学 富山大学  
卒業年 平成24年

### ◆ 先輩医師からのメッセージ

想像してください。皆さんが医者になり、しばらくして仕事に慣れた頃、救急外来で当直に入ります。出くわしたことの無い病状にドキドキしますね。とりあえず入院してもらって…さあどうします？

どれだけ経験を積んでも、また新たな病態にいちいち思い悩む…ということは日常茶飯事。指導医におうかがいをたてますか？まあそうでしょうね。無理しないで相談することは大切です。でもちょっと自分で考えてみたいとも思うでしょ？医師の仕事は試験ではありません。自分に知識がなかったらペケをつけられて「ハイまた次に頑張ります」では済まない！どんな手段を使ってもとにかく答えを探さなくては！研修医室に戻り同僚の研修医にたずねましょうか？教科書をひっくり返しましょうか？キーワードでネット検索しますか？余裕があれば論文を探して図書館にも通ってみますか？たぶんどれも有効です。なにが解決のヒントを与えてくれることでしょうか。

学生時代にすべきことは、困難に直面したときに自分を助けてくれる「引き出し」を多く持つておくことではないでしょうか。そのために必要なものを大切にしてください。同級生や部活の先輩と、数年のときを隔てて再会し、大きな仕事ができることもあります。使い方を誤らなければネットだって大きな武器になります。論文検索サイトを知っておくことも、英語を読めることも強みになります。

数年後の自分の姿を想像してそこから逆算したら、いま自分がしておくべきことが見えてくるのでは…。



氏名 堀川 直樹  
診療科 外科  
出身大学 富山医科薬科大学

### 病院からのお知らせ

病院見学を随時受付中です。

申込みは、病院ホームページトップの「臨床研修センター」のアイコンをクリック、もしくは担当者メールアドレス（hospitaljim@city.takaoka.lg.jp）へご連絡ください。

電話での申込みも受け付けています。電話番号 0766-23-0204（内線 2243）

## 2

# 富山県済生会高岡病院

### ◆ 若手医師からのメッセージ

基本的には実臨床で必要な知識や技術は就職後からの習得が主であり、専門科が決定した後はよりそういった面が強くなると思います。もちろん学生時代の知識が全く必要でないわけではありませんが、国家試験を合格できるレベルであれば、基礎的な知識は問題とはならないと思います。むしろ学生時代に知っておくべきなのは医学の知識よりも、そういった知識を習得するための「方法」であると思います。具体的には、必要となる文献や論文の探索や検索の方法や、自分にあった学習方法を知っておくことが、入職後に役立ってくると思われます。

また、私自身が学生時代にやっておけば良かったと感じているのは、とにかく英語と英会話です。上記の文献や論文を読むのにも書くにも必須ですし、医師として仕事をしていく上で、将来海外の学会での仕事や海外留学等も必要となる可能性があります。そういった面から、学生時代のまとまった時間が取れる時に、英語の習得に力を入れていたら良かったと感じています。

以上、私が考える大学時代にやっておくと役立つと思われる事です。医学生方にとって少しでも参考になれば幸いです。



氏名 中垣内 昌樹  
診療科 循環器内科  
出身大学 富山大学  
卒業年 平成 22 年



### ◆ 先輩医師からのメッセージ

最近の研修医をみて感じることは、良くも悪くも要領が良いということ。我々の頃になかったインターネット等の情報手段の多岐化などの恩恵もあるでしょうが、効率よく知識を習得されています。一つだけお話しをしたら、もっと内外の文献をあさったり、同僚同士で抄読会勉強会を開いたり、指導医・上級医に積極的に知識技術の教えを求められたらと思います。この点は、我々の年代より結構希薄だと思います。研修医にすれば、効率の悪い地道な苦勞にみえる事も、ある程度必要です。

私が 20 代の頃に、医局より派遣されて米国に留学した際、その米国大学での症例検討会でレジデントが、積極的に意見を述べていました。「おいおい、そんなこと言って大丈夫か」と思う質問もありましたが、よく勉強されてのことで、それを非難する先生はいませんでした。

私が 20 代の頃に、医局より派遣されて米国に留学した際、その米国大学での症例検討会でレジデントが、積極的に意見を述べていました。「おいおい、そんなこと言って大丈夫か」と思う質問もありましたが、よく勉強されてのことで、それを非難する先生はいませんでした。

今後、一層の指導医・上級医への積極的な質問等、研修医の多岐にわたる努力の姿をみたいと思っています。



氏名 豊本 貴嗣  
診療科 皮膚科  
出身大学 富山医科薬科大学

## 病院からのお知らせ

**済生会高岡病院は病院見学を随時受付中です！**

詳しくは、**当院ホームページトップの「臨床研修募集案内」のアイコンをクリック**もしくは**担当者メールアドレス（[araki.hirokazu@takaoka-saiseikai.jp](mailto:araki.hirokazu@takaoka-saiseikai.jp)）までお問い合わせ**ください。

# 3

## 厚生連高岡病院

### ◆研修医からのメッセージ

厚生連高岡病院での基幹型研修医2年目の原田です。

他科のローテーションは基本的には研修医の時にしか

できないため、麻酔科志望ではありますが、麻酔に関係するさまざまな科で研修させていただきました。麻酔科は3カ月しか研修していません。

そんな2年間で感じたことは、学生の時にもっと座学を勉強しておけばよかったなあ…ということ。

試験に出るところだけではなく、もっと興味をもって勉強できればよかったなと思います。特に基礎系！生理学や解剖学は実際に臨床に出てとっても大切だと痛感します。患者さんを通して学んだことは、教科書を通して学んだことよりも深く印象に残ると思います。国試に通らなければ医師になれないのも現実ですが、実習を通して、課題だから…ではなく積極的に学ぶ姿勢が大切だと思います。

自分の知識の幅や深さが患者さんの命や QOL に直結することを忘れず、優しさを持った人間味のあるドクターを目指してお互い頑張りましょう！



氏名 原田 樹  
診療科 臨床研修医  
出身大学 富山大学  
卒業年 平成24年



### ◆先輩医師からのメッセージ

「順境不驕 逆境不挫」(順境におごらず 逆境にくじけず)。

外科医を職業とする決心をし、自分なりに気概を持って研修に身を投じたのは(もちろん現在の様な研修医制度はまだ始まっていませんが)かれこれ20年余前のことです。近頃では記憶力もすっかり劣化してしまいましたが、それまでに学び重ねた事と医療現場とのギャップにうろたえていた時のことは(今思えば可愛げな失敗談でも)不思議なくらい鮮明に覚えているものです。外科という「業務」は学生の間には修練のしようがありませんでしたから、一層そんな感じがするのかもしれませんが。

そういえば大学を卒業するころ恩師から上記の銘を授けて頂き、確かに心へ刻んだつもりだったのですが…、座右に置くでもなく失念したまま時間を過ごしていました。いつしか初期研修の皆さんと接するようになって、右往左往していた一年生の頃を振り返る機会を得ました。そうそう、仕事を始める時に用意した手帳の最後のページに書き込んだのを思い出したのです。自分としては経験の上で胡坐をかいているつもりも諦観しているつもりもないのですが、初心を忘れずにいることは何とも容易でないものです。



氏名 原 拓央  
診療科 外科  
出身大学 金沢大学

### 病院からのお知らせ

当院は、富山県西部の救急医療、急性期医療を支える病院です。

病院見学を随時受付中です。病院ホームページトップの「研修医・医学生」→「病院見学のお申込み」のアイコンをクリック、もしくは担当者メールアドレス(tasoumu@kouseiren-ta.or.jp)までお問い合わせください。

# 4

## 金沢医科大学氷見市民病院

### ◆ 研修医からのメッセージ

＜大学時代にやっておいて良かったこと＞

部活に入っていることが良いと感じております。

後々考えてみますと、部活は医局に少し似ているような感じがします。〇〇部→〇〇科、練習→臨床や研究等の勉強、試合→発表、部員→医局員などなど…。文系・理系どれでも入っておくと今後のためによいのかもしれません。

＜学生の皆さんへ＞

私自身やはり疾患に対して定義を学び、そこから大項目を見ていくことが重要と考えます。ある疾患に対して、定義がうやむやになっていると色々と曖昧になっていることに気づきました。

また、コツコツとあいている時間に勉強することの大切さを痛感しております。地味ですが、じわじわと今後に効いてきます。あいている時間を睡眠時間や体調管理・精神面での安定に使うことも重要です。段々疲れてきてしまいますと、集中力の維持が困難になってしまう恐れがあるからです。さらに、もし興味のない診療科でも、自分の将来なる診療科につながる部分が必ずあると思います。そこを自分なりに見出して意義のある研修医ライフを過ごし、目標の診療科につなげていくと将来が円滑に進むのではないのでしょうか。自分の考える時間も重要だと感じております。



氏名 岩田 嘉文  
診療科 臨床研修医  
出身大学 獨協医科大学  
卒業年 平成25年

### ◆ 先輩医師からのメッセージ

生理学・生化学・薬理学・解剖学 e.t.c. 医師になってから、『もっと学生時代にしっかり勉強しておけば良かった！』と何度思ったことか…自分が使う

薬がどこにどう作用するのか、今患者の状態がどうなっているのか、手技をするにしても体の中はどうなっているのか…これらを知るには、基礎医学の知識が必要です。現在、様々な便利な機械・モニターなどが開発され、昔とは医療環境が変わってきました。ただ、それらに頼ってばかりいると、重大なことを見落とすこともあります。結局最終的に一番大切なことは、“患者さんを自分で診察し、患者さんと話すこと”です。学生時代によく学んだ基本的な問診・視診・聴診などは、いつの時代になっても最も重要なことなのです。学生時代で学ぶことに無駄なことはありません(残念ながら、それを実感するのは医師になってからですが…)。今一生懸命勉強を頑張れば、それが必ず未来の自分のため、患者さんのためになることでしょう。ただ、学生時代にしかできないことを制限してまで勉強をしるとは言っていません。部活に打ち込むことも重要です。努力すること、チームワークの大切さ、先輩・同僚・後輩との接し方など、部活でしか学べないこともいっぱいあります。

恋愛・趣味・バイトもいいでしょう。医師も患者さんと同じ人間ですから、人間性が豊かにならないと、患者さんとのコミュニケーションやチーム医療はうまくできないと思います。タイトルは『大学時代、コレだけはやっとかれ！』ですが、個人的には特定の『コレ』はありません。それよりも、何事も、今できることを全力で頑張ってください。



氏名 川崎 政紀  
診療科 麻酔科  
出身大学 富山医科薬科大学  
(現 富山大学)

### 病院からのお知らせ

当院は、医学生及び臨床研修医の方々を全職員が熱意を持って受け入れしています。詳しくは、病院ホームページトップの「臨床研修医募集」のアイコンをクリックし、担当者メールアドレス(kh-soumu@kanazawa-med.ac.jp)までお問い合わせください。

# 5

## 市立砺波総合病院

### ◆ 研修医からのメッセージ

「大学時代にやっておいて良かったこと」

仲間同士での『勉強会』は must だと思います。勉強会の方法はいろいろあると思いますが、僕たちは、各自で Question Bank を解いておいて、分からないところをみんなで質問し合うというオーソドックスな方式を取っていました。勉強会でみんなで話し合ったことは、結構、記憶に残りますよ。

あと、自分より少し勉強ができる人をメンバーに迎えるのは基本中の基本ですが、自分より明らかにレベルの低い人をメンバーに入れると国家試験のボーダーラインが分かるので重宝します（笑）。

「大学時代にやっておけば良かったこと」

研修医になってからは、つらいことは多々あります。自分の思ったように仕事ができない、ミスしたときに看護師に冷ややかな目で見られるなど etc... このときに、どのようにして逃避するか？それは、多種多様な『趣味』を持つことだと思います。僕の周囲を見ても、料理、ダイビング、楽器演奏、ゴルフ、麻雀、パチンコ、カラオケ、自転車など、仕事以外の時間を別世界に活躍されているドクターは人間的にも余裕があり、懐が深いように見えます。自分の趣味を広げるためには、学生時代にいろんな交友関係を持つことが大事だと思います。僕自身、部活（ゴルフ部）と勉強会以外のメンバーとはあまり交流を持たなかったせいか、悲しいかな、これといった趣味がありません。医学生のみなさん、勇気を出して、話をしたことも無いクラスメートに声をかけてみましょう。または、新しいバイトを見つけてみましょう。新しい世界が広がるかもしれませんよ。



氏名 南部 亮太  
診療科 臨床研修医  
出身大学 新潟大学  
卒業年 平成24年

### ◆ 先輩医師からのメッセージ

この原稿を書いている今はちょうどソチオリンピックの真最中。10代の若い選手たちにも41歳のベテラン葛西にも魅せられました。

育ち方、考え方にかなりの違いを感じますが、競技に向ける真摯な想いは同じだと思います。私たちの時代とは全く違う環境・システムの中で育ってくる若い皆さんに、時として“ズレ”を感じるがあります。しかし、医療の現場で目指すものは同じはず。お互いを感じるちょっとした違いを乗り越え一緒に歩みたいものです。先輩達を怖がらずに、どしどしぶつかってください！



氏名 山本 環（写真の一番左）  
出身大学 金沢大学 診療科 耳鼻咽喉科

### 病院からのお知らせ

病院見学を随時受付中です。お気軽にお問い合わせください。

詳しくは、病院ホームページトップの「臨床研修プログラム」のアイコンをクリック

## 6

## 南砺市民病院

## ◆ 研修医からのメッセージ

南砺市民病院にて初期研修医として勉強させて頂いております三好と申します。自分があえて

小さい病院を研修先として選択したのには理由があります。それは他の病院でのようにチームの一員として上級医の手伝いが主体となるのではなく、一年目の初めから主治医として考えることが求められる点です。初期研修医の制度が変更になりローテーションが開始して初期研修医に求められるものも変わりました。厚生労働省によるローテーションの目的として初期研修医の間に common disease を学び、その対処能力を獲得することです。そのためには特別な専門科、先進的な医療を行う大規模病院よりも一般内科を主体とする病院の方がより適切であると考えました。自分のなかでは初期研修医の間は医療の基礎をかためる時期だと感じております。

現在、自分が初期研修医として過ごして早くも一年が経とうとしています。初めの頃と比較すると患者さんの治療に関するマネージメントをたてることに少しずつ慣れてきました。常に自分が考える必要性があるため良い研修になっていると思います。



氏名 三好俊太郎  
診療科 初期研修医  
出身大学 富山大学  
卒業年 平成24年

## ◆ 先輩医師からのメッセージ

私の経験に基づく「学生の間にとっておくべきことトップ3」は、

1. 医学生以外の人々との交流
2. 彼氏・彼女との交流
3. 部活動や趣味に打ち込む



氏名 荒幡 昌久  
診療科 内科・総合診療科  
出身大学 金沢大学  
初期臨床研修プログラム責任者

です。医師として、初めて会う人（患者）と良好なコミュニケーションを築き、短時間で信頼関係を築くには、まず相手のことを（疾病以外の部分も）理解できることが重要です。そのためには、人並みの感性と人間性を養い、相手を思いやる心を育てておく必要があります。別の価値観を持つ人とディスカッションし、人を愛し、時には傷ついたり傷つけたり、1つの目標に向かって同じ志を持つ者と一体化し、泣いたり笑ったり感動したり…そうした学生生活を通じて身に付くものだと思います。

残念ながら、私の学生時代の武勇伝を書くスペースがなくなりましたので割愛します。気になる方は南砺市民病院の門を叩いてください（実際は自動ドアで叩けません）。

みなさんが充実した学生生活を送り、晴れやかな研修医となられることを期待しています。

## 病院からのお知らせ

電話番号：0763-82-1475 担当者メールアドレス：shiminhp@city.nanto.lg.jp

HP：http://shiminhp.city.nanto.toyama.jp トップページ上段中央の

「医師・研修医・医学生の方へ」アイコンをクリックして下さい。

# 春休みは富山の病院へ！ 見学費用助成のお知らせ



富山県では、県内の臨床研修病院に病院見学や受験にお越しの県外大学の医学生に、旅費の一部を支給しています。ぜひご利用ください！

【対象】 県外大学に在籍する医学生（4～6年生）

【支給条件】 富山県内の臨床研修病院を 2か所以上 見学又は受験すること  
（1人につき、1年に2回まで申請できます）

【支給額】

大学所在地	支給額
石川県	5千円
福井、新潟、岐阜、長野県	1万円
関東、近畿、その他中部地方	2万円
その他地域	3万円



【手続き】

① 富山県のホームページから「証明書」をダウンロード



② 「証明書」を持って、病院見学・受験に行く



③ 病院担当者に「証明書」の必要事項を記載してもらう



④ 必要書類（証明書・請求書・学生証の写し）を富山県臨床研修病院連絡協議会に郵送



◆詳細は、富山県のホームページをご覧ください◆

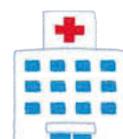
[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1204/kj00010525.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1204/kj00010525.html)

## メールアドレスを登録して情報をGETしよう！

富山県では、各種イベントのお知らせや県内病院の最新情報などがたくさん載ったメールマガジン「富山県医学生だより」をお届けしています。

メールアドレスを未登録の方はぜひご登録ください！！

ご希望の方は、 [doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp](mailto:doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp) までご連絡ください。



# 東海北陸地区 臨床研修病院合同説明会

富山県の臨床研修病院が、5月6日（火・振休）に開催される「東海北陸地区 臨床研修病院 合同説明会」に出展します！

学年を問わずご参加いただけますので、翌年度6年生になる方から合同説明会に興味をお持ちの低学年の方まで、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

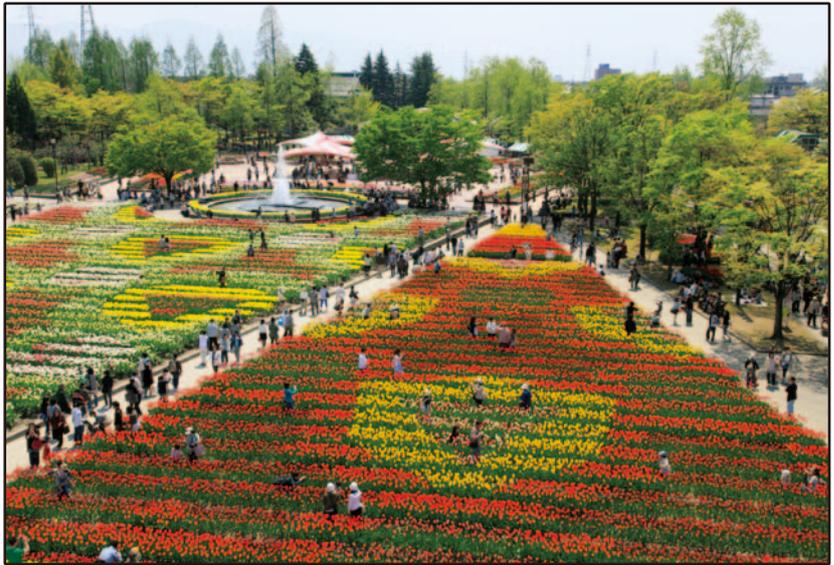
<b>日 時</b>	平成26年5月6日（火・振替休日） 10:00～16:00
<b>場 所</b>	ポートメッセなごや 第2展示館 愛知県名古屋市港区金城ふ頭2-2
<b>参加費</b>	無料
<b>県内の 出展病院</b>	富山県立中央病院 / 富山市立富山市民病院 富山大学附属病院 / 富山県済生会高岡病院 南砺市民病院



## 平成26年度行事予定

富山県臨床研修病院連絡協議会では、平成26年度もさまざまなイベント等の開催を予定しております。どんどん参加して、富山県の臨床研修病院のことを知ってください！  
それぞれの詳細は、次号およびメールマガジン等で随時お知らせします。





表紙・裏表紙の写真…となみチューリップフェア

(2014年4月23日～5月6日開催予定)

## 発行（問合先）

富山県臨床研修病院連絡協議会 事務局（富山県厚生部医務課内）

〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7

TEL 076-444-3218（直通）

FAX 076-444-3495

e-mail [doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp](mailto:doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp)

